

事務事業名		33200	消防広域化・共同化基盤整備事業	予算科目	会計 一般	款 9	項 1	目 1	所管課	消防本部	担当班	警防課
施策体系	基本施策	30	消防力の強化	根拠法令	地方自治法の協議会(第252条の2の2)			事業種別	<input checked="" type="checkbox"/>	主な事業	<input type="checkbox"/>	国土強靱化地域計画
	施策の展開	58	常備消防体制の充実	戦略事業	258 消防広域化の整備				<input type="checkbox"/>	新市建設計画	<input type="checkbox"/>	定住自立圏構想
	施策の展開			戦略事業					<input type="checkbox"/>	主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 25 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 〇〇 年度～ 令和 〇〇 年度まで		・共同指令センター(20消防本部)及び県域一体の消防救急デジタル無線機の維持管理を行う事業。 共同運用を行うことで高機能の機器により迅速的確な119番通報の受信指令を行うとともに、各消防本部の連携及び情報の共有化、隣接地域や大規模災害時の相互応援体制の充実強化を図る。 ※共同指令センターとは、各消防本部が共同で設置した機関であり、119番通報を受信し管轄消防本部の消防隊・救急隊等へ出動指令や現場活動の支援などを行うセンター。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
平成25年度に千葉市に共同指令センターが設置され、広域化、共同化の推進が進んだ。 ・最新の通信機器の導入により迅速的確な対応が可能 ・災害時の相互応援体制の充実強化		・各消防本部の規模、部隊運用などに相違があり 検討事項の協議が難航。	
		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
		・特になし	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算) 単位:千円	
1.共同指令センター負担金	54,101 共同指令センター運用経費
2.消防救急無線設備維持管理負担金	4,783 消防救急デジタル無線機維持管理経費
3.消防防災用備品費	
4.システム改修委託料	
5.その他	7 Net119利用説明会
② 特定財源の内訳(1年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	
2.都道府県支出金	
3.地方債	29,600 機器部分更新の防災対策事業債
4.その他	

事業費	費目内訳	1 共同指令センター負担金	千円	28年度(決算)	13,260	29年度(決算)	13,687	30年度(決算)	21,669	1年度(決算)	54,101	2年度(予算)	15,120
		2 消防救急無線設備維持管理負担金	千円	4,783	4,783	4,783	4,783	4,783	4,783	4,783	4,783	4,783	4,783
		3 消防防災用備品費	千円									603	
		4 システム改修委託料	千円	3,218									3,278
		5 その他	千円			10,230				7			
財源	事業費計(A)	千円	21,261	28,700	26,452	58,891	23,785						
	1.国庫支出金	千円											
	2.都道府県支出金	千円											
	3.地方債	千円				330	29,600						
	4.その他	千円											
5.一般財源	千円	21,261	28,700	26,122	29,291	23,785							

前年度増減理由	機器の部分更新により負担金が増加した。
---------	---------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 〇 人 × 〇 日 = 延べ 〇 人

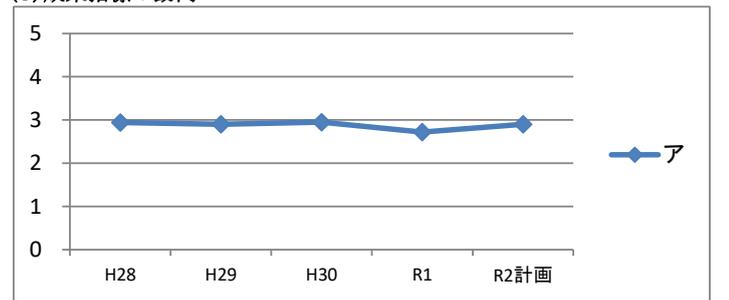
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動) 共同指令センター運用に伴う協議会 旭市管内119番通報受信	ア 年間119番通報受信件数(1~12月)	件	3,632	3,576	3,737	3,938	4,200
		イ 年間救急出動件数(1~12月)	件	2,888	2,817	2,879	3,037	3,100
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	対象意図 市民 迅速的確な対応、活動を受けることができる	ア 救急出動の覚知~出動の平均時間(1~12月)	分	2.94	2.90	2.95	2.72	2.90
	対象意図	イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	コスト比率 下位 1/3
	普通	ある程度ある	中位 1/3
	小さい	ほとんどない	上位 1/3
		評価結果	(11)

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難									
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	数値増=成果向上	比較	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度
	【コメント】(低下の場合、その理由)					ア	△ 0.03	△ 0.04	0.05	△ 0.23	0.18
	③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()	年度中 車両端末地図データ更新 定期的 共同指令センター運用に伴う協議会					